

学 会 等 発 表 実 績

委託業務題目

「アジアの感染症担当研究機関とのラボラトリーネットワークの促進と共同研究体制の強化に関する研究」

機関名：国立感染症研究所

1 . 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
WHO Collaborating Centre for Virus Reference and Research (Enteroviruses). (Poster).	Shimizu H.	The First Regional Forum of WHO Collaborating Centres in the Western Pacific, Manila, the Philippines,	13-14 November, 2014	国外
Molecular basis of virus-host interaction and pathogenesis of enterovirus 71 infection.	Shimizu H.	Monto Ho Memorial Lectures on Enterovirus 71, 2014 International Symposium on Infectious Disease and Signal Transduction, Tainan, Taiwan,	2 November, 2014	国外
The molecular basis of the interaction between EV71 and PSGL-1 from structural and functional standpoints.	Shimizu H.	TLL Seminar, Temasek Life Science Laboratory, Singapore,	25 September, 2014	国外
Structural and functional basis of the interaction between enterovirus 71 and a cellular receptor, PSGL-1.	Shimizu H.	Protein Island Matsuyama International Symposium, Matsuyama, Ehime,	17 September, 2014	国内

Virology of Enterovirus 71.	Shimizu H.	JICA Training Workshop on Biosafety and HFMD Laboratory Diagnosis, Hanoi, Viet Nam,	14-18 July 2014	国外
Overview of hand, foot, and mouth disease and enterovirus infections.	Shimizu H.	JICA Training Workshop on Biosafety and HFMD Laboratory Diagnosis, Hanoi, Viet Nam,	14-18 July 2014	国外
新生児重症感染を惹起したコクサッキーウイルス B2 型の性状解析.	吾郷昌信、 北川由美香、 松本文昭、 吉川亮、 陣 内久美子、 森内浩幸、 永田典代、 清水博之、 森田交一.	第 62 回日本ウイルス学 会学術集会. 横浜市	11 月 10~12 日、 2014	国内
ヒトパレコウイルス (HPeV)3 型の増殖機構の解析.	町田早苗、 清水 博之.	第 62 回日本ウイルス学 会学術集会. 横浜市	11 月 10~12 日、 2014	国内
ウイルス受容体特異性を応用したポリオウイルス直接検出法の開発.	中村 朋史、 有田 峰太 郎、 清水 博之.	第 62 回日本ウイルス学 会学術集会. 横浜市、	11 月 10~12 日、 2014	国内

<p>カニクイザルを用いた Saffold virus の神経病原性の病理学的解析.</p>	<p>小谷治、藤井健、鈴木忠樹、岩田奈織子、網康至、須崎百合子、長谷川秀樹、田口文広、清水博之、永田典代.</p>	<p>第 62 回日本ウイルス学会学術集会. 横浜市、</p>	<p>11 月 10~12 日、2014</p>	<p>国内</p>
<p>エンテロウイルス 71 のカニクイザルにおける病原性の解析.</p>	<p>片岡周子、西村順裕、鈴木忠樹、小谷治、岩田奈織子、永田典代、網康至、清水博之.</p>	<p>第 62 回日本ウイルス学会学術集会. 横浜市</p>	<p>11 月 10~12 日、2014</p>	<p>国内</p>
<p>コクサッキーウイルス B2 型垂直感染による新生児重症感染例.</p>	<p>吾郷昌信、陣内久美子、高柳俊光、森内浩幸、清水博之</p>	<p>第 55 回日本臨床ウイルス学会. 札幌市</p>	<p>6 月 14 日~15 日、2014</p>	<p>国内</p>
<p>兵庫県で脳炎を引き起こしたエンテロウイルス 71 (EV71) の分子疫学</p>	<p>藤本嗣人、花岡希、藤巻明日香、萩美貴、清水博之</p>	<p>第 55 回日本臨床ウイルス学会. 札幌市</p>	<p>6 月 14 日~15 日、2014</p>	<p>国内</p>
<p>小児用肺炎球菌結合型ワクチン PCV7 導入が小児侵襲性肺炎球菌感染症へ及ぼす影響の細菌学的解析。</p>	<p>常彬</p>	<p>第 88 回日本感染症学会学術講演会、第 62 回日本化学療法学会総会合同学会、</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>

<p>2007年以前の国内野生動物における重症熱性血小板減少症候群ウイルス（SFTSV）に対する抗体調査</p>	<p>堀田明豊、木村昌伸、坪田敏男、中村幸子、片山敦司、中下留美子、猪島康雄、鈴木道雄、今岡浩一、棚林清、藤田修、山本美江、宇田晶彦、森川茂。</p>	<p>第157回日本獣医学会学術集会、北海道</p>	<p>2014年9月9日 - 12日</p>	<p>国内</p>
<p>ニホンジカから採取したマダニ類のウイルス遺伝子保有状況からみた自然界におけるSFTSVウイルス維持様式の検討</p>	<p>藤田修、宇田晶彦、木村昌伸、藤田博己、今岡浩一、森川茂。</p>	<p>第157回日本獣医学会学術集会、北海道</p>	<p>2014年9月9日 - 12日</p>	<p>国内</p>
<p>野生のシカにおけるSFTSVウイルス抗体調査</p>	<p>森川茂、木村昌伸、堀田明豊、来義浩、朴ウンシル、鈴木道雄、野口章、井上智、今岡浩一、前田健。</p>	<p>第157回日本獣医学会学術集会、北海道</p>	<p>2014年9月9日 - 12日</p>	<p>国内</p>

<p>野生動物における SFTS ウィルス感染の疫学調査</p>	<p>浜崎千菜美、 楯田龍星、 野口慧多、 寺田豊、下 田宙、高野 愛、鈴木和 男、森川 茂、前田 健.</p>	<p>第 157 回日本獣医学会 学 術集会、北海道</p>	<p>2014 年 9 月 9 日 - 12 日</p>	<p>国内</p>
<p>SFTS ウィルスの生活環に お ける野生のシカの役割</p>	<p>森川茂、 朴 ウン シ ル、 今岡 浩一、 前田 健、 宇田 晶彦.</p>	<p>第 62 回日本ウィルス 学 会学術集会、神 奈川</p>	<p>2014 年 11 月 10- 12 日</p>	<p>国内</p>
<p>重症熱性血小板減少症候群ウ イルスの分子系統学的特徴 と その地理的分布</p>	<p>西條政幸、 吉河智城、 福士秀悦、 谷英樹、 福間藍子、 谷口怜、 須田遊人、 Harpal Singh、 前田健、 高橋徹、 森川茂、 下島昌幸.</p>	<p>第 62 回日本ウィルス 学 会学術集会、神 奈川</p>	<p>2014 年 11 月 10- 12 日</p>	<p>国内</p>

<p>SFTS ウイルスの生活環における動物の重要性</p>	<p>前田健、濱崎千菜美、下田宙、鍬野田龍星、口慧多、満研三、高野愛、鈴木和男、森川茂.</p>	<p>第 62 回日本ウイルス学会学術集会、神奈川</p>	<p>2014 年 11 月 10-12 日</p>	<p>国内</p>
<p>重症熱性血小板減少症候群ウイルス GP の細胞融合能と 25- hydroxycholesterol による 感染阻害効果</p>	<p>谷英樹、谷口怜、福岡藍子、福士秀悦、森川茂、下島昌幸、西條政幸.</p>	<p>第 62 回日本ウイルス学会学術集会、神奈川</p>	<p>2014 年 11 月 10-12 日</p>	<p>国内</p>
<p>Severe fever with thrombocytopenia syndrome virus in domestic and wild animals in Japan.</p>	<p>Shigeru Morikawa, Masanobu Kimura, Shuetsu Fukushi, Aiko Fukuma1 Yoshihiro Kaku, Unsil Paku, Hideki Tani1 Tomoyuki Yoshikawa, Koichi Imaoka, Masayuki Shimojima, Masayuki Saijo, Ken Maeda.</p>	<p>XVIth International Congress of Virology, Montreal (Canada)</p>	<p>27July- 1Aug 2014</p>	<p>国外</p>

<p>Development of IFA and ELISA to detect antibodies against SFTSV.</p>	<p>Aiko Fukuma, Shuetsu Fukushi, Hideki Tani, Tomoki Yoshikawa, Satoshi Taniguchi, Momoko Ogata, Masayuki Shimojim1, Shigeru Morikawa, Masayuki Saijo.</p>	<p>XVIth International Congress of Virology, Montreal (Canada)</p>	<p>27July-1Aug 2014</p>	<p>国外</p>
<p>Analyses of cell entry of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus using pseudotype vesicular stomatitis virus system.</p>	<p>Hideki Tani, Masayuki Shimojima, Shuetsu Fukushi, Tomoki Yoshikawa, Aiko Fukuma, Satoshi Taniguchi, Momoko Ogata, Shigeru Morikawa, Masayuki Saijo.</p>	<p>XVIth International Congress of Virology, Montreal (Canada)</p>	<p>27July- 1Aug 2014</p>	<p>国外</p>

<p>Severe fever with thrombocytopenia syndrome virus in ticks in Japan.</p>	<p>Akihiko Uda, Hiroki Kawabata, Shuetsu Fukushi, Yoshiharu Kaku, Masayuki Shimojima, Shuji Ando, Ken Maeda, Hiromi Fujita, Masayuki Saijo, Shigeru Morikawa, Tomoyuki Yoshikawa, Aya Niikura, Sawabe Kyoko.</p>	<p>XVIth International Congress of Virology, Montreal (Canada)</p>	<p>27July- 1Aug 2014</p>	<p>国外</p>
<p>Severe fever with thrombocytopenia syndrome virus in animals and ticks in Japan.</p>	<p>Shigeru Morikawa, Akihiko Uda, Masanobu Kimura, Kawabata, Hiroki, Shuetsu Fukushi, Aiko Fukuma, Yoshihiro Kaku, Unsil Paku, Hideki Tani, Tomoyuki Yoshikawa, Aya Niikura, Shuji Ando, Sawabe Kyoko, Hiromi Fujita, Koichi Imaoka, Masayuki Shimojima, Masayuki Saijo, Ken Maeda.</p>	<p>The 10th China-Japan International Conference of Virology, Changchun, China</p>	<p>Aug25-28 2014</p>	<p>国外</p>

ニシ貝を原因食品とするナグビブリオによる食中毒の事例解析	佐々木麻里、 成松浩志、 緒方喜久代、 荒川英二、 森田昌知、 泉谷秀昌、 大西真	第48回腸炎ビブリオシンポジウム、 函館	2014年	国内
Re-emerging dengue in Japan 2014.	Tomohiko Takasaki	The 8th Korea-Japan-China for communicable disease control and prevention. (The Lotte Hotel, Jeju, Korea)	Nov.26, 2014.	国外
Re-emerging dengue in Japan: Where do we stand today?	Tomohiko Takasaki.	17th International Conference on Emerging Infectious Diseases Taipei, Taiwan,	27-29 Jun 2015	国外
黄熱ワクチンとデングワクチン.	高崎智彦	第25回トラベラーズワクチンフォーラム研修会、東京都	2014年2月22日	国内
黄熱ワクチンとデング熱ワクチン.	高崎智彦	第11回渡航医学実用セミナー「海外赴任前健康ガイドス」、東京都	2014年6月30日	国内
デング熱 国内感染の流行をどう受け止めるか	高崎智彦	日本記者クラブ。 (東京都、日本プレスセンタービル)	2014年9月12日	国内

海外で流行する昆虫媒介性ウイルス感染症とデング熱国内流行（特別講演）	高崎智彦	平成 26 年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部ウイルス部会研究会	2014	国内
デング熱国内発生への対応 - デング熱の基礎と疫学 -	高崎智彦	第 46 回日本小児感染症学会、東京	平成 26 年 10 月 18 - 19 日	国内
緊急企画：70 年を経ての再来 ～デング熱国内流行 2014 .	高崎智彦	第 57 回日本感染症学会 中日本地方会学術集会、岡山市	平成 26 年 10 月 23 - 25 日	国内
緊急報告「デング熱 - 今年の国内流行」	高崎智彦	第 62 回日本ウイルス学会学術集会、横浜市	平成 26 年 11 月 10 ~12 日	国内
Demonstration of common marmosets (<i>Callithrix jacchus</i>) as a non-human primate model for dengue vaccine development.	MoiMeng Ling, 白井顕治、 網康至、宮林 田幸長、林 昌宏、須崎 百合子、北 浦一孝、西 條政幸、鈴 木隆二、倉 根一郎、高 崎智彦	第 62 回日本ウイルス学会学術集会、横浜市	平成 26 年 11 月 10 ~12 日	国内

<p>デング1型ウイルスの遺伝子型がヒトにおける中和・増強抗体応答に及ぼす影響。</p>	<p>山中敦史、Moi Meng Ling、高崎智彦、倉根一郎、鈴木亮介、小西英二。</p>	<p>第62回日本ウイルス学会学術集会、横浜市</p>	<p>平成26年11月10～12日</p>	<p>国内</p>
<p>FcR発現細胞を用いた新規中和アッセイにて日本脳炎ワクチン接種者におけるデングウイルスに対する中和・感染増強能の検討。</p>	<p>齋藤悠香、Moi Meng Ling、竹下望、林昌宏、司馬肇、細野邦昭、西條政幸、倉根一郎、高崎智彦。</p>	<p>第62回日本ウイルス学会学術集会、横浜市</p>	<p>平成26年11月10～12日</p>	<p>国内</p>
<p>デング熱から身を守るために ～忍び寄る地球温暖化～</p>	<p>高崎智彦</p>	<p>川崎市地球温暖化防止活動推進センター主催 (東京都多摩市)</p>	<p>平成26年11月16日</p>	<p>国内</p>
<p>市民公開講座 デング熱 これからどうなる？</p>	<p>高崎智彦</p>	<p>日本獣医学会 公衆衛生分科会主催 (東京、日本獣医生命科学大学)</p>	<p>平成26年12月1日</p>	<p>国内</p>
<p>デング熱国内感染と海外の対応</p>	<p>高崎智彦</p>	<p>日本旅行医学会 第8回看護部会セミナー (東京 東医健保会館)</p>	<p>平成26年12月13日</p>	<p>国内</p>
<p>デング熱国内流行 ～70年の時を経て～ (特別講演)</p>	<p>高崎智彦</p>	<p>第21回リケッチア研究会 (東京 国立感染症研究所)</p>	<p>平成26年12月20-21日</p>	<p>国内</p>

デング熱・チングニア熱 など蚊媒介性ウイルス感 染症	高崎智彦	平成 26 年度阪神地区 感 染症懇話会 (大 阪市 大阪府病院年金 会館)	平成 27 年 1 月 26 日	国内
Bordetella pertussis fimbriae are regulated by BvgAS system and Pfim structure.	大塚菜緒, 柴山恵吾, 蒲地一成	第 88 回日本細菌学会 総 会, 岐阜	平成 27 年 3 月	国内
百日咳類縁菌 Bordetella holmesii の自己凝集抑制因子 BipA に関する研究 .	平松征洋, 大塚菜緒, 柴山恵吾, 鈴木英里, 渡邊峰雄, 蒲地一成	第 88 回日本細菌学会 総 会, 岐阜	平成 27 年 3 月	国内
Norovirus molecular evolution and epidemiology	Young-Bin PARK, and Kazuhiko KATAYAMA.	The Eleventh Japan- Taiwan Symposium, Taiwan	2014 年 9 月 11 日	国外
Bacterial cytoskeleton RodZ and virulence gene expression of Shigella type III secretion system.	Mitobe J, Yamamoto S, Watanabe H, and Ohnishi M.	第 87 回日本細菌学会 総 会、タワーホール 船堀	2014 年 3 月 26-28 日	国内

<p>MLVA genotyping and clinical characterization of <i>Leptospira interrogans</i> canine isolates.</p>	<p>水谷麻紀, 小泉信夫, 泉谷秀昌, 川原一芳, 大西真</p>	<p>第 88 回日本細菌学会 総会, 岐阜市</p>	<p>2015 年 3 月</p>	<p>国内</p>
<p>宿主プロテアーゼ TMPRSS2 は、インフルエンザウイルスの生体内活性化酵素である</p>	<p>酒井宏治、田久安、 網康至、原舞乃、 保田耐、楽正輝、 島典子、塚剛史、 瀬勝啓、谷川秀樹、 黒田誠、河田竹 岡義裕、代真人、 田誠</p>	<p>札幌、第 157 回日本獣 医学学会学術集会</p>	<p>平成 26 年 9 月</p>	<p>国内</p>
<p>犬ジステンパーウイルスのヒト SLAM 利用に必要な受容体側の因子</p>	<p>酒井宏治、 關文緒、 田原舞乃、 網康至、 山口良二、 駒瀬勝啓、 竹田誠</p>	<p>札幌、第 157 回日本獣 医学学会学術集会</p>	<p>平成 26 年 9 月</p>	<p>国内</p>

<p>宿主プロテアーゼ TMRSS2 は センダイウイルスの病原性決定因子のひとつである</p>	<p>北沢実乃莉、酒井宏治、田原舞乃、安部昌子、中島勝紘、網康至、中安駒長、島典子、楽正輝、瀬勝啓、谷川秀樹、竹原一明、田代真人、加藤篤、竹田誠</p>	<p>札幌、第 157 回日本獣医学会学術集会</p>	<p>平成 26 年 9 月</p>	<p>国内</p>
<p>野生型イヌジステンパーウイルスのヒト SLAM 利用能獲得に必要な変異</p>	<p>酒井宏治、關文緒、加納和彦、網康至、田原舞乃、駒瀬勝啓、前仲勝実、山口良二、竹田誠</p>	<p>横浜、第 62 回日本ウイルス学会学術集会</p>	<p>平成 26 年 11 月</p>	<p>国内</p>
<p>国内の麻疹排除(measles elimination)状況に関する考察</p>	<p>岡部信彦、駒瀬勝啓、砂川富正、竹田 誠、多屋馨子、中野貴司、蜂谷正彦、三崎貴子、吉倉 廣、渡瀬博敏</p>	<p>福岡、第 18 回日本ワクチン学会学術集会</p>	<p>平成 26 年 12 月</p>	<p>国内</p>

<p>麻疹・風疹に関する最近の国内疫学情報について</p>	<p>多屋馨子、佐藤弘、奥野英雄、新井智、神谷元、八幡裕一郎、伊東宏明、福住宗久、砂川富正、駒瀬勝啓、竹田誠、大石和徳</p>	<p>福岡、第18回日本ワクチン学会学術集会</p>	<p>平成26年12月</p>	<p>国内</p>
<p>The host protease TMPRSS2 is essential for influenza A virus pathogenicity</p>	<p>Kouji Sakai, Yasushi Ami, Maino Tahara, Toru Kubota, Masaki Anraku, Noriko Nakajima, Tsuyoshi Sekizuka, Katsuhiko Komase, Makoto Kuroda, Hideki Hasegawa, Yoshihiro Kawaoka, Masato Tashiro, Makoto Takeda</p>	<p>淡路島 13th Awaji International forum on infection and immunity</p>	<p>平成26年9月</p>	<p>国内</p>

<p>Pathological Study on the Central Nerve System of ddY Mice Intramuscularly Infected with Street Rabies Virus (1088 Strain).</p>	<p>Park, C.H., Yamada, K., Hassadin, B., Kimitsuki, K., Inoue, S., Nishizono, A.</p>	<p>The U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program (CMSP) presents the 17th International Conference on Emerging Infectious Diseases (EID). Academia Sinica, Taipei, Taiwan.</p>	<p>26-27 Jan, 2015</p>	<p>国外</p>
<p>Rabies surveillance and contingency actions of ferret-badger rabies in Taiwan, 1999 to 2014.</p>	<p>Chang, S.-S., Tsai, H.-J., Chang, F.-Y., Lee, T.-S., Huang, K.-C., Fang, K.-Y., Wallace, R.M., Inoue, S., Fei, C.-Y.</p>	<p>The U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program (CMSP) presents the 17th International Conference on Emerging Infectious Diseases (EID). Academia Sinica, Taipei, Taiwan.</p>	<p>26-27 Jan, 2015</p>	<p>国外</p>
<p>A pathological study of the salivary glands of rabid dogs in the Philippines.</p>	<p>Hassadin, B., Kimitsuki, K., Manalo, D.M., Inoue, S., Park, C.-H.,</p>	<p>The U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program (CMSP) presents the 17th International Conference on Emerging Infectious Diseases (EID). Academia Sinica, Taipei, Taiwan.</p>	<p>26-27 Jan, 2015.</p>	<p>国外</p>

<p>Different intracellular localization of G protein between Kyoto strain (street virus) and CVS-26 strain (fixed virus) was associated with N-glycosylation of G protein at the site of 204.</p>	<p>Hamamoto, N., Uda A., Noguchi, A., Okutani, A., Kaku, Y., Park, C.-H., Morikawa, S., Inoue, S</p>	<p>The U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program (CMSP) presents the 17th International Conference on Emerging Infectious Diseases (EID). Academia Sinica, Taipei, Taiwan.</p>	<p>26-27 Jan, 2015</p>	<p>国外</p>
<p>狂犬病発病犬の唾液腺に関する病理学的研究。</p>	<p>高橋有里花、 篠崎春美、 矢野川祥子、 君付和範、 Hassadin Boonsriroj、 Daria L. Manalo、 井上 智、 朴天鎬</p>	<p>第 157 回日本獣医学会学術集会、北海道大学高等教育推進機構、札幌市、北海道</p>	<p>2014 年 9 月 9 日 - 12 日</p>	<p>国内</p>
<p>狂犬病発病犬の口唇皮膚におけるウイルス抗原の局在と診断的有用性。</p>	<p>篠崎春美、 高橋有里花、 矢野川祥子、 君付和範、 Hassadin Boonsriroj、 Daria L. Manalo、 井上 智、 朴天鎬</p>	<p>第 157 回日本獣医学会学術集会、北海道大学高等教育推進機構、札幌市、北海道</p>	<p>2014 年 9 月 9 日 - 12 日</p>	<p>国内</p>

<p>イムノクロマト法をベースにした狂犬病ウイルス中和抗体価迅速検出キットのイヌ血清を用いた多国的評価。</p>	<p>山田健太郎、 渡辺一平、 アハメド カ ムルディ ン、 Daria L. Manalo、 Miranda Mary、 Lapiz Stella、 Tapdasan Emerson、 Petspophonsa kul Wilaiwan、 井上 智、 朴天鎬、 Khawplod Pakamatz、 西園 晃</p>	<p>第 157 回日本獣医学会 学 術集会、北海道大学 高 等教育推進機構、札 幌 市、北海道</p>	<p>2014 年 9 月 9 日 - 12 日</p>	<p>国内</p>
<p>官学連携による狂犬病診断体制の構築。</p>	<p>松浦真翔、 鶴田一郎、 坊園慶信、 山田健太郎、 井上智、 三 澤尚明</p>	<p>平成 2 6 年度獣医学 術 九州地区学会、鹿 児 島 県民交流センタ ー、鹿 児 島 市、鹿 児 島 県</p>	<p>2014 年 10 月 4 日</p>	<p>国内</p>
<p>細胞増殖を指標とした細胞内抗体選択法の開発。</p>	<p>景岡美穂、 李松熹、 加来義浩、 井上 智、 長棟輝行、 河原正浩</p>	<p>2014 年度細胞アッセイ 研究会シンポジウ ム 「細胞アッセイ技術 の 現状と将来」、東 京大 学生産技術研究 所コンベンションホ ール、東 京都</p>	<p>2015 年 1 月 13 日</p>	<p>国内</p>

<p>シンポジウム 3 病原性真菌の感染成立機構 クリプトコックスの莢膜多糖による免疫回避機構の解析及びその制御法の開発、口頭</p>	<p>金城雄樹, 上野圭吾, 浦井 誠, 金子幸弘, 大久保陽一郎, 清水公德, 大野秀明, 亀井克彦, 川本 進, 澁谷和俊, 宮崎義継</p>	<p>第 58 回日本医真菌学会 総会・学術集会</p>	<p>2014 年 11 月</p>	<p>国内</p>
<p>アスペルギルスの抗真菌薬耐性、口頭</p>	<p>梅山 隆, 山越 智, 田辺公一, 名木 稔, 大野秀明, 宮崎義継</p>	<p>第 58 回日本医真菌学会 総会・学術集会</p>	<p>2014 年 11 月</p>	<p>国内</p>
<p>マクロファージの貪食を指標とした <i>Cryptococcus gattii</i> 感染病態の評価、ポスター</p>	<p>壇辻百合香, 大野秀明, 梅山 隆, 上野圭吾, 大久保陽一郎, 田辺公一, 名木 稔, 山越智, 金城雄樹, 杉田隆, 澁谷和利, 宮崎義継</p>	<p>第 58 回日本医真菌学会 総会・学術集会</p>	<p>2014 年 11 月</p>	<p>国内</p>

<p>高病原性 Cryptococcus gattii の感染防衛に寄与する樹状細胞ワクチンの作用、ポスター</p>	<p>上野圭吾, 金城雄樹, 大久保陽一郎, 清水公德, 金子幸弘, 浦井誠, 川本進, 亀井克彦, 大野秀明, 澁谷和俊, 宮崎義継</p>	<p>第58回日本医真菌学会総会・学術集会</p>	<p>2014年11月</p>	<p>国内</p>
<p>高病原性 Cryptococcus gattii の莢膜多糖成分が免疫細胞に及ぼす影響、ポスター</p>	<p>浦井誠, 金子幸弘, 上野圭吾, 田辺公一, 梅山隆, 山越智, 金城雄樹, 大野秀明, 杉田隆, 宮崎義継</p>	<p>第58回日本医真菌学会総会・学術集会</p>	<p>2014年11月</p>	<p>国内</p>
<p>カンジダ症における薬剤耐性、口頭</p>	<p>田辺公一, 宮崎義継</p>	<p>第97回日本細菌学会関東支部総会</p>	<p>2014年10月</p>	<p>国内</p>

<p>高病原性 <i>Cryptococcus gattii</i> の感染防衛に寄与する樹状細胞ワクチン、口頭</p>	<p>上野圭吾, 金城雄樹, 大久保陽一郎, 浦井 誠, 金子幸弘, 大野秀明, 亀井克彦, 澁谷和俊, 宮崎義継</p>	<p>第 63 回日本感染症学会 東日本地方会学術集会</p>	<p>2014 年 10 月</p>	<p>国内</p>
<p>真菌の薬剤耐性の現状と課題、口頭</p>	<p>名木 稔, 田辺公一, 石野敬子, 梅山 隆, 山越 智, 大野秀明, 宮崎義継</p>	<p>第 63 回日本感染症学会 東日本地方会学術集会</p>	<p>2014 年 10 月</p>	<p>国内</p>
<p>肺アスペルギローマとの鑑別が困難であった <i>Pseudallescheria boydii</i> による肺菌球症の 1 例、口頭</p>	<p>本川奈々, 福田雄一, 今村圭文, 宮崎泰可, 泉川公一, 大野秀明, 柳原克紀, 宮崎義継, 早田 宏, 田代隆良, 河野 茂</p>	<p>第 62 回日本化学療法学会 西日本支部総会・第 57 回日本感染症学会中 日本地方会学術集会・第 84 回日本感染症学会 西日本地方会学術集会</p>	<p>2014 年 10 月</p>	<p>国内</p>

<p>黒色菌糸症の1例、口頭</p>	<p>多田明子, 山本剛伸, 藤本巨, 河口 豊, 浦井 誠, 梅山 隆, 宮崎義継</p>	<p>第263回日本皮膚科学 会 岡山地方会</p>	<p>2014年9月</p>	<p>国内</p>
<p>高病原性クリプトコックス症 に対する樹状細胞ワクチンの 効果、口頭</p>	<p>上野 圭吾, 大久保陽一 郎, 清水 公德, 金 子幸弘, 浦井 誠, 水口裕紀, 奈良拓也, 川本 進, 大野秀明, 澁谷和俊, 宮崎義継, 金城雄樹</p>	<p>第25回日本生体防御 学 会学術総会</p>	<p>2014年7月</p>	<p>国内</p>
<p>カンジダ属の抗真菌薬耐 性、口頭</p>	<p>田辺公一, 大野秀明, 名木 稔, 浦井 誠, 金子幸弘, 梅山 隆, 山越 智, 宮崎義継</p>	<p>第35回関東医真菌懇 話 会</p>	<p>2014年6月</p>	<p>国内</p>

<p>ミカファンギン耐性 Candida glabrata 株の in vitro 性状解析、口頭</p>	<p>田辺公一, 大野秀明, 名木 稔, 浦井 誠, 金子幸弘, 梅山 隆, 山越 智, 荒木光二, 皿谷 健, 宮崎義継</p>	<p>第 35 回関東医真菌懇 話会</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>
<p>腹膜透析中に発症した Cryptococcus laurentii による腹膜炎の一例、口頭</p>	<p>浦井 誠, 金 子幸弘, , 稲垣浩司, 狩谷哲芳, 政本大二郎, 水谷 真, 名 木 稔, 上野 圭吾, 山越 智, 田辺公 一, 梅山 隆, 大川原 明子, 金城 雄樹, 大野 秀明, 宮崎 義継</p>	<p>第 35 回関東医真菌懇 話会</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>
<p>マウスモデルでの肺炎球菌 蛋白質・糖脂質併用ワクチン の感染防御効果の解析、口 頭</p>	<p>金城雄樹, 金子幸弘, 梅山 隆, 川上和義, 大石和徳, 宮崎義継</p>	<p>第 88 回日本感染症学 会 学術講演会・第 62 回日本化学療法学会 総会合同学会</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>

<p>症例から学ぶ感染症セミナー ムーコル症の真菌同定検査、口頭</p>	<p>梅山 隆, 大野秀明, 田辺公一, 山越 智, 名木稔, 宮崎義継</p>	<p>第 88 回日本感染症学会 学術講演会・第 62 回日本化学療法学会 総会合同学会</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>
<p>病原糸状菌 <i>Aspergillus fumigatus</i> の Polo-like キナーゼ遺伝子破壊株の菌系成長・分生子形成・抗真菌薬感受性への影響、ポスター</p>	<p>梅山 隆, 山越 智, 田辺公一, 名木稔, 金子幸弘, 金城雄樹, 大野秀明, 宮崎義継</p>	<p>第 88 回日本感染症学会 学術講演会・第 62 回日本化学療法学会 総会合同学会</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>
<p>カンジダ属の抗真菌薬感受性の変貌、口頭</p>	<p>田辺公一, 大野秀明, 名木 稔, 浦井 誠, 金子幸弘, 梅山 隆, 山越 智, 知花博治, 亀井克彦, 宮崎義継</p>	<p>第 88 回日本感染症学会 学術講演会・第 62 回日本化学療法学会 総会合同学会</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>

<p>高病原性 Cryptococcus gattii 由来莢膜多糖の免疫細胞に及ぼす影響、口頭</p>	<p>浦井 誠, 金子幸弘, 田辺公一, 梅山 隆, 山越 智, 金城雄樹, 大野秀明, 杉田 隆, 宮崎義継</p>	<p>第 88 回日本感染症学会 学術講演会・第 62 回日本化学療法学会 総会合同学会</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>
<p>真菌感染症について：薬剤耐性真菌、口頭</p>	<p>宮崎義継</p>	<p>第 3 回日本微生物学連盟 市民公開フォーラム</p>	<p>2014 年 4 月</p>	<p>国内</p>
<p>教育講演 4 Clostridium difficile 感染症について.</p>	<p>加藤はる</p>	<p>第 88 回日本感染症学会学術講演会 福岡</p>	<p>2014 年 6 月</p>	<p>国内</p>
<p>国際シンポジウム All about Clostridium difficile infection in the world 「What is going on about Clostridium difficile infection in Japan?」</p>	<p>Kato H.</p>	<p>第 45 回日本嫌気性菌感染症学会 東京</p>	<p>2015 年 2 月</p>	<p>国内</p>
<p>Pneumococcal antibody levels in Japan before the introduction of pneumococcal conjugate vaccine.</p>	<p>Hamaguchi S, Akeda Y, Tomono K, Oishi K.</p>	<p>International Symposium on Pneumococcal and Pneumococcal Diseases. p.80. Hyderabad, India. March 9-13, 2014</p>	<p>March 9-13, 2014</p>	<p>国外</p>

2 . 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 （学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
Development and introduction of inactivated poliovirus vaccines derived from Sabin strains in Japan.	Shimizu H.	Vaccine	(in press)	国外
Establishment of a panel of in-house polyclonal antibodies for the diagnosis of enterovirus infections.	Kotani O, Iwata- Yoshikawa N, Suzuki T, Sato Y, Nakajima N, Koike S, et al.	Neuropathology	(in press)	国外
Surveillance of hand, foot, and mouth disease for a vaccine.	Shimizu H, Nakashima K.	Lancet Infect Dis 14(4), 262-3,	2014	国外
Development of an efficient entire-capsid-coding-region amplification method for direct detection of poliovirus from stool extracts.	Arita M, Kilpatrick DR, Nakamura T, Burns CC, Bukbuk D, Oderinde SB, Oberste MS, Kew OM, Pallansch MA, Shimizu H.	J Clin Microbiol 53: 73- 78,	2015	国外

Genetic diversity of circulating Saffold viruses in Pakistan and Afghanistan.	Naeem A, Hosomi T, Nishimura Y, Alam MM, Oka T, Zaidi SS, Shimizu H.	J Gen Virol 95: 1945- 1957,	2014	国外
sIPV Evaluation Group of NIID Virology II. A national reference for inactivated polio vaccine derived from Sabin strains in Japan.	Shirato H, Someya Y, Ochiai M, Horiuchi Y, Takahashi M, Takeda N, Wakabayashi K, Ouchi Y, Ota Y, Tano Y, Abe S, Yamazaki S, Wakita T,	Vaccine 32: 5163-5169,	2014	国外
ライノウイルスの分類と疾患への関与.	清水博之	日本医事新報 4689: 53-55,	2014	国内
急増した手足口病	清水博之	感染・炎症・免疫 44,94-96,	2014	国内
東アジア地域を中心とした手足口病流行の現状.	清水博之	感染症 43, 50-51,54- 59,	2014	国内

<p>「消化器ウイルス篇 エンテロウイルス-ポリオウイルス および非ポリオエンテロウイルス」の項を担当、臨床医のための呼吸器・消化管ウイルス感染症</p>	<p>清水博之</p>	<p>診断と治療社 (堤裕幸、中野貴司、寺田喜平、編)、103-109,</p>	<p>2014</p>	<p>国内</p>
<p>Common isolation of New Delhi metallo-β-lactamase 1-producing Enterobacteriaceae in a large surgical hospital in Vietnam.</p>	<p>Hoang TH, Ehsani S, Shibayama K, Matsui M, Suzuki S, Minh BN, Duong NT, Phuong VT, Linh DT, Thu HN, Anh DD, Son HT, Hien NT, Wertheim H.</p>	<p>Eur J Clin Microbiol Infect Dis</p>	<p>(in press)</p>	<p>国外</p>
<p>外来型カルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌の検出状況</p>	<p>鈴木里和、松井真理、鈴木仁人、柴山恵吾</p>	<p>病原微生物検出情報 (IASR) 35(12):287-288</p>	<p>2014</p>	<p>国内</p>
<p>Direct detection of Mycobacterium avium in environmental water and scale samples by loop-mediated isothermal amplification.</p>	<p>Nishiuchi Y, Tamaru A, Suzuki Y, Kitada S, Maekura R, Tateishi Y, Niki M, Ogura H, Matsumoto S.</p>	<p>J Water Health. 12:211-9.</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>

<p>Global population structure and evolution of <i>Bordetella pertussis</i> and their relationship with vaccination.</p>	<p>Bart MJ, Harris SR, Advani A, Arakawa Y, Bottero D, Bouchez V, Cassidy PK, Chiang CS, Dalby T, Fry NK, Gaillard ME, van Gent M, Guiso N, Hallander HO, Harvill ET, He Q, van der Heide HG, Heuvelman K, Hozbor DF, Kamachi K, Karataev GI, Lan R, Lutyńska A, Maharjan RP, Mertsola J, Miyamura T, Octavia S, Preston A, Quail MA, Sintchenko V, Stefanelli P, Tondella ML, Tsang RS, Xu Y, Yao SM, Zhang S, Parkhill J, Mooi FR.</p>	<p>mBio 5:e01074</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>
<p>Comparison of loop-mediated isothermal amplification and real-time PCR for detecting <i>Bordetella pertussis</i>.</p>	<p>Allahyar Torkaman MR, Kamachi K, Nikbin VS, Lotfi MN, Shahcheraghi F.</p>	<p>J Med Microbiol.</p>	<p>[Epub ahead of print]</p>	<p>国外</p>
<p>微生物 ABC 百日咳</p>	<p>蒲地一成</p>	<p>up-to-date 子どもの感染症 . 2(2):18-21</p>	<p>2014</p>	<p>国内</p>

<p>Epidemiology and Molecular Characteristics of Norovirus GII.4 Sydney 2012 Gastroenteritis Outbreaks in Taiwan, January 2012–December 2013.</p>	<p>Fang-TzyWu, MS, Hsieh-Cheng Chen, MS, Catherine Yen, MD MPH, Ching-Yi Wu, MS, Kazuhiko Katayama, Ph D, Jason C. Huang, PhD, Ho-Sheng Wu PhD.</p>	<p>Arch Virol</p>	<p>(in press)</p>	<p>国外</p>
<p>Association between Giardia duodenalis and co-infection with other diarrhea-causing pathogens in India.</p>	<p>Mukherjee, A. K., Chowdhury, P., Bhattacharya, M. K., Rajendran, K., Nozaki, T., and Ganguly. S.</p>	<p>BioMed Res Int, Volume 2014, Article ID 786480,</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>
<p>Interaction between Nbp35 and Cfd1 proteins of cytosolic Fe-S cluster assembly reveals a stable complex formation in Entamoeba histolytica.</p>	<p>Anwar, S., Dikhit, M. R., Singh, K. P., Kar, R. K., Zaidi, A., Sahoo, G. C., Roy, A. K., Nozaki, T., Das, P., and Ali, V.</p>	<p>PLoS One 9, e108971 doi: 10.1371/journal.pone.0108971.</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>
<p>Multiple-locus variable-number tandem repeat analysis and clinical characterization of Leptospira interrogans canine isolates.</p>	<p>Koizumi N, Mizutani Muto M, Izumiya H, Suzuki M, Ohnishi M.</p>	<p>J Med Microbiol.</p>	<p>(in press)</p>	<p>国外</p>

レプトスピラ症	小泉信夫 , 大西真	月刊公衆衛生情報 . 44: 22-23,	2014	国内
レプトスピラ症	小泉信夫 , 大西真	感染症内科 . 2: 159- 164	2014	国内
Ongoing increase in measles cases following importations, Japan, March 2014: times of challenge and opportunity.	Takahashi T, Arima Y, Kinoshita H, Kanou K, Saitoh T, Sunagawa T, Ito H, Kanayama A, Tabuchi A, Nakashima K, Yahata Y, Yamagishi T, Sugawara T, Ohkusa Y, Matsui T, Arai S, Satoh H, Tanaka-Taya K, Komase K, Takeda M, Oishi K	Western Pac Surveill Rresponse J 16; 5(2) 31-3	2014	国外
Development of an improved RT-LAMP assay for detection of currently circulating rubella viruses.	Abo H, Okamoto K, Anraku M, Otsuki N, Sakata M, Icenogle J, Zheng Q, Kurata T, Kase T, Komase K, Takeda M, Mori Y.	Journal of Virological Methods. 207, 73-77.	2014	国外

<p>The host protease TMPRSS2 plays a major role in in vivo replication of emerging H7N9 and seasonal influenza viruses.</p>	<p>Sakai K, Ami Y, Tahara M, Kubota T, Anraku M, Abe M, Nakajima N, Sekizuka T, Shirato K, Suzaki Y, Ainai A, Nakatsu Y, Kanou K, Nakamura K, Suzuki T, Komase K, Nobusawa E, Maenaka K, Kuroda M, Hasegawa H, Kawaoka Y, Tashiro M, Takeda M.</p>	<p>J Virol. 88: 5608-5616.</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>
<p>海外の麻疹の情報 2013</p>	<p>駒瀬勝啓 竹田誠</p>	<p>病原微生物検出情報 35 (4) ; 97-98</p>	<p>2014</p>	<p>国内</p>

<p>潜在的な疫学リンクが疑われた D8 型ウイルスによる麻疹広域散発事例</p>	<p>山岸拓也、伊東宏明、八幡裕一郎、中島一敏、松井珠乃、高橋琢理、木下一美、砂川富正、奥野英雄、多屋馨子、大石和徳、駒瀬勝啓、三崎貴子、丸山絢、大嶋孝弘、清水英明、岩瀬耕一、岡部信彦、小泉祐子、平岡麻理子、瀬戸成子、杉本徳子、荷見奈緒美、熊谷行広、大塚吾郎、杉下由行、甲賀健史、鈴木理恵子、阿南弥生子、舟久保麻理子、弘光明子、坂本洋、阿部勇治、氏家無限</p>	<p>病原微生物検出情報 35 (4); 100 - 102</p>	<p>2014</p>	<p>国内</p>
<p>フィリピン渡航者～の D9 型麻疹ウイルスの検出-福岡市</p>	<p>古川英臣、梶山桂子、宮代守、佐藤正雄、伊藤孝子、酒井由美子、井出瑤子、植山誠、眞野理恵子、衣笠有紀、戸川温、高田徹、猪狩洋介、駒瀬勝啓</p>	<p>病原微生物検出情報 35 (5); 132</p>	<p>2014</p>	<p>国内</p>
<p>輸入麻疹と国内伝播</p>	<p>竹田誠、駒瀬勝啓</p>	<p>感染症 44(6) 206-217</p>	<p>2014</p>	<p>国内</p>

<p>Phylogeographic analysis of rabies viruses in the Philippines.</p>	<p>Kentaro Tohma, Mariko Saito, Taro Kamigaki, Laarni T. Tuason, Catalino S. Demetria, Jun Ryan C. Orbina, Daria L. Manalo, Mary E. Miranda, Akira Noguchi, Satoshi Inoue, Akira Suzuki, Beatriz P. Quiambao, Hitoshi Oshitani</p>	<p>Infection, Genetics and Evolution, 23:8694.</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>
<p>Association between RABV G Proteins Transported from the Perinuclear Space to Cell Surface Membrane and N-glycosylation of the Sequon at Asn204.</p>	<p>Hamamoto, N., Uda A., Tobiume, M., Park, C.-H., Noguchi, A., Kaku, Y., Okutani, A., Morikawa, S., Inoue, S.</p>	<p>JJID</p>	<p>(in press)</p>	<p>国内</p>
<p>Reverse transcription polymerase chain reaction-based method for selectively detecting vegetative cells of toxigenic <i>Clostridium difficile</i>.</p>	<p>Senoh M, Kato H, Murase T, Hagiya H, Tagashira Y, Fukuda T, Iwaki M, Yamamoto A, Shibayama K.</p>	<p>Microbiol Immunol 58: 615-620.</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>

<p>Fulminant pseudomembranous colitis caused by Clostridium difficile PCR ribotype 027 in a healthy young woman in Japan.</p>	<p>Nishimura S, Kou T, Kato H, Watanabe M, Uno S, Senoh M, Fukuda T, Hata A, Yazumi S.</p>	<p>J Infect Chemother 20: 729-731.</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>
<p>Identification of SIV Nef CD8+ T cell epitopes restricted by a MHC class I haplotype associated with lower viral loads in a macaque AIDS model.</p>	<p>Nomura T, Yamamoto H, Takahashi N, Naruse TK, Kimura A, Matano T.</p>	<p>Biochem Biophys Res Commun 450: 942-947</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>
<p>the Japanese IPD Study Group. Hyporesponsiveness to the infecting serotype after vaccination of children with seven-valent pneumococcal conjugate vaccine following invasive pneumococcal disease.</p>	<p>Tamura K, Matsubara K, Ishiwada N, Nishi J, Ohnishi H, Suga S, Ihara T, Bin Chang B, Akeda Y, Oishi K,</p>	<p>Vaccine. 32:1444-1450</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>
<p>Global control of pneumococcal infections by pneumococcal vaccines.</p>	<p>Oishi K, Tamura K, Akeda Y.</p>	<p>Trop Med Health. 42 (2) Suppl 83-86</p>	<p>2014</p>	<p>国外</p>

<p>Breakthrough invasive <i>Candida glabrata</i> in patients on micafungin: a novel FKS gene conversion correlated with sequential elevation of MIC.</p>	<p>Saraya T, Tanabe K, Araki K, Yonetani S, Makino H, Watanabe T, Tsuji moto N, Takata S, Kurai D, Ishii H, Miyazaki Y, Takizawa H, Goto H.</p>	<p>Journal of Clinical Microbiology. 52(7):2709-2712</p>	<p>2014 年</p>	<p>国外</p>
<p>Potent drugs that attenuate anti-<i>Candida albicans</i> activity of fluconazole and their possible mechanisms of action.</p>	<p>Urai M, Kaneko Y, Niki M, Inoue M, Tanabe K, Umeyama T, Fukazawa H, Ohno H, Miyazaki Y.</p>	<p>Journal of Infection and Chemotherapy. 20(10):612-615</p>	<p>2014 年</p>	<p>国内</p>
<p>A case of <i>Fusarium paronychia</i> successfully treated with occlusive dressing of antifungal cream.</p>	<p>Ikeda I, Ohno T, Ohno H, Miyazaki Y, Nishimoto K, Fukushima S, Makino T, Ihn H.</p>	<p>Journal of Dermatology. 41(4):340-2</p>	<p>2014 年</p>	<p>国内</p>
<p>特集 感染症動向 2015 播種性 クリプトコックス症</p>	<p>宮崎義継</p>	<p>メディカル朝日 . 1: 16-17</p>	<p>2015 年</p>	<p>国内</p>

V. 感染症検査・真菌	宮崎義継, 金子幸弘, 樽本憲人	パーフェクトガイド 検査値事典 [第2 版]. 477-481	2014年	国内
侵襲性カンジダ症の診断～血 清診断～遺伝子診断	梅山 隆, 宮崎義継	侵襲性カンジダ 症 . 115-117	2014年	国内
III 診断・治療法から見た 大切な真菌症、4 治療薬の 選択 と投与	金子幸弘, 浦井 誠, 宮崎義継	目で見える真菌と真菌 症 . p192-202	2014年	国内
真菌症-よく目にする真菌症 から今後注意すべき真菌症 まで-Aspergillus: 病態と 抗原 価の関連	梅山 隆, 大野秀明, 宮崎義継	感染症内科. 2(6):575- 580	2014年	国内
日本にも現れたクリプトコ ックス・ガッティ	大野秀明, 宮崎義継	日経サイエン ス . 44(5):76	2014年	国内

<p>座談会：深在性真菌症の診断・治療ガイドラインを読み解く</p>	<p>河野 茂, 亀井克彦, 二木芳人, 宮崎義継</p>	<p>呼吸. 33(5):435-43</p>	<p>2014 年</p>	<p>国内</p>
<p>ミニ特集：病原体サーベイランス体制とその利用、国立感染症研究所の立場から</p>	<p>宮崎義継, 砂川富正, 大石和徳</p>	<p>小児科. 55(4):403-6</p>	<p>2014 年</p>	<p>国内</p>
<p>耐性病原体 up-to-date～耐性メカニズムから治療戦略まで ～、1 抗微生物薬に対する耐性メカニズム、2 抗真菌薬耐性</p>	<p>田辺公一, 宮崎義継</p>	<p>化学療法の領域. 30(S-1):20-5</p>	<p>2014 年</p>	<p>国内</p>